



ミーティング資料

2024年 3月

戸田建設株式会社

2024年3月期 連結業績予測

■ 連結売上高 **5,210**億円 (前年比 $\Delta 4.8\%$)

： 国内建設事業において、大型工事の進捗が想定に至らなかったこと、新TODAビルの建設で外部売上を抑えたこともあり、前期比で4.8%減少の5,210億円の見込み。

■ 営業利益 **155**億円 (前年比 $+9.7\%$)

： 建築事業において、工事損失引当金を計上した工事の利益向上と、前期に子会社化した海外子会社の影響により、前期比で9.7%増加の155億円の見込み。

親会社株主に帰属する

■ 当期純利益 **136**億円 (前年比 $+23.7\%$)

： 五島市沖洋上風力発電事業において、特別損失を計上したが、建築事業の利益改善により、前期比で23.7%増加の136億円の見込み。

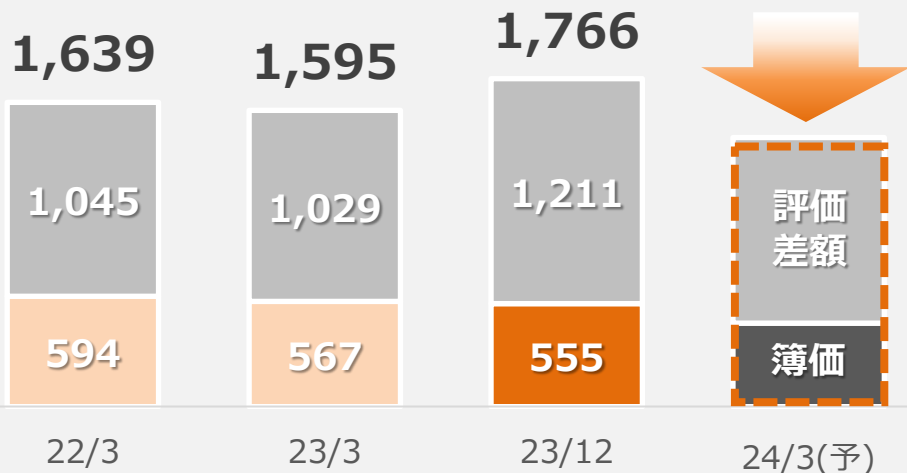
(単位：億円)	2023/3期 第3四半期 実績	2024/3期 第3四半期 実績	前期比	2024/3期 予想
連結売上高	3,810	3,527	$\Delta 7.4\%$	5,210
売上総利益	347 (9.1%)	412 (11.7%)	18.7%	635
営業利益	45 (1.2%)	77 (2.2%)	70.8%	155
経常利益	90	150	66.5%	213
親会社株主に帰属する 当期純利益	83	66	$\Delta 20.9\%$	136
建設受注高 (個別)	2,518	3,031	20.4%	5,100

【個別】政策保有株式の推移

保有銘柄数



(億円)



- 成長投資の原資確保の観点から、政策保有株式の残高縮減を進めます。
- 22年～24年度の3カ年で
*300億円以上を売却する方針です。
*時価ベース

(参考) 政策保有株式の売却実績

	売却銘柄数	売却価額
22/3	12銘柄	45億円
23/3	10銘柄	115億円
24/2	14銘柄	166億円

■ 株主還元方針

株主への継続的な安定配当の実施と、競争力および財務体質の強化に不可欠な内部留保の確保を勘案の上、業績および経営環境に応じた利益還元を行う

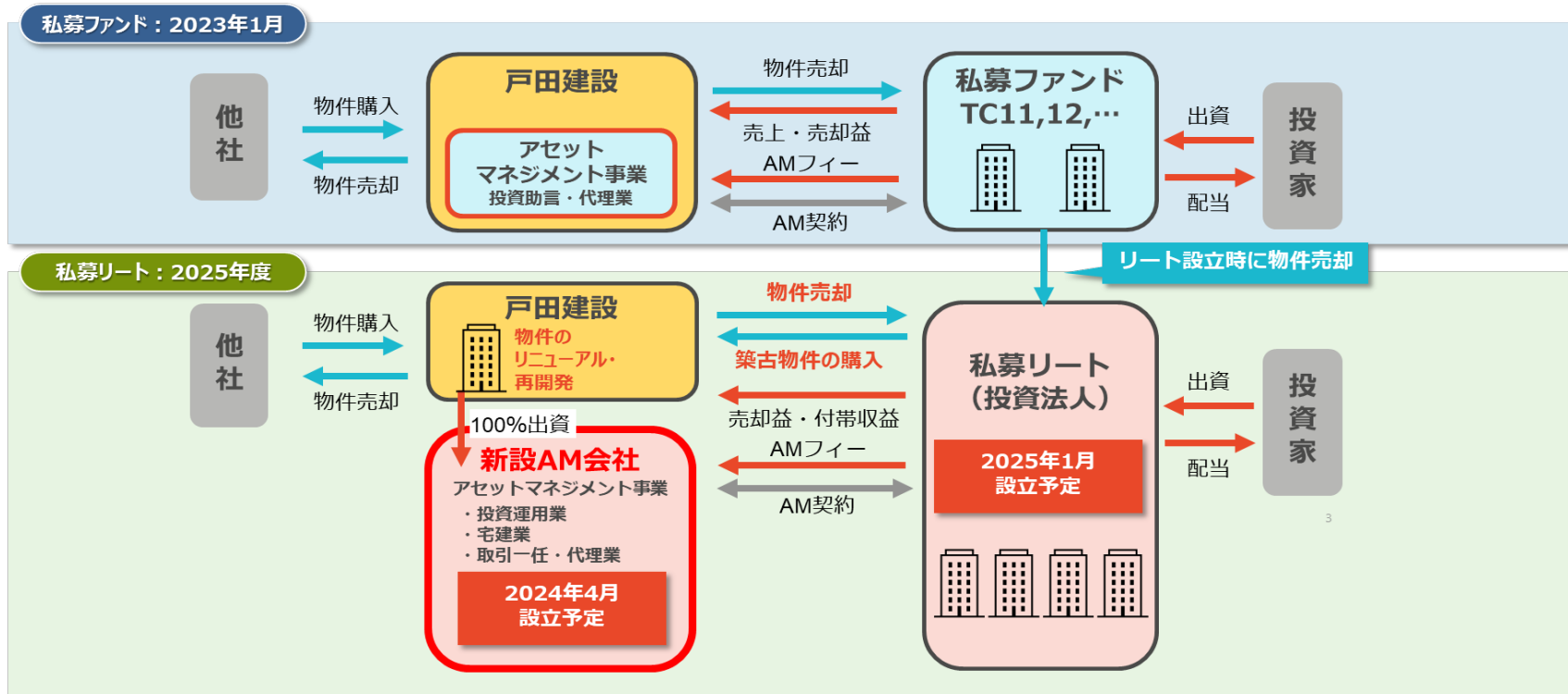
■ 配当予想

「DOE（自己資本配当率）2.5%以上を維持する」という観点から、2024年3月期の配当については1株当たり28円（うち中間配当14円）を予定

	株主還元方針	2023年3月期 実績	2024年3月期 予測
DOE	2.5%以上	2.7%	2.7%
総還元性向	40.0%以上	76.5%	100.3%

私募リート、アセットマネジメント事業への取組み

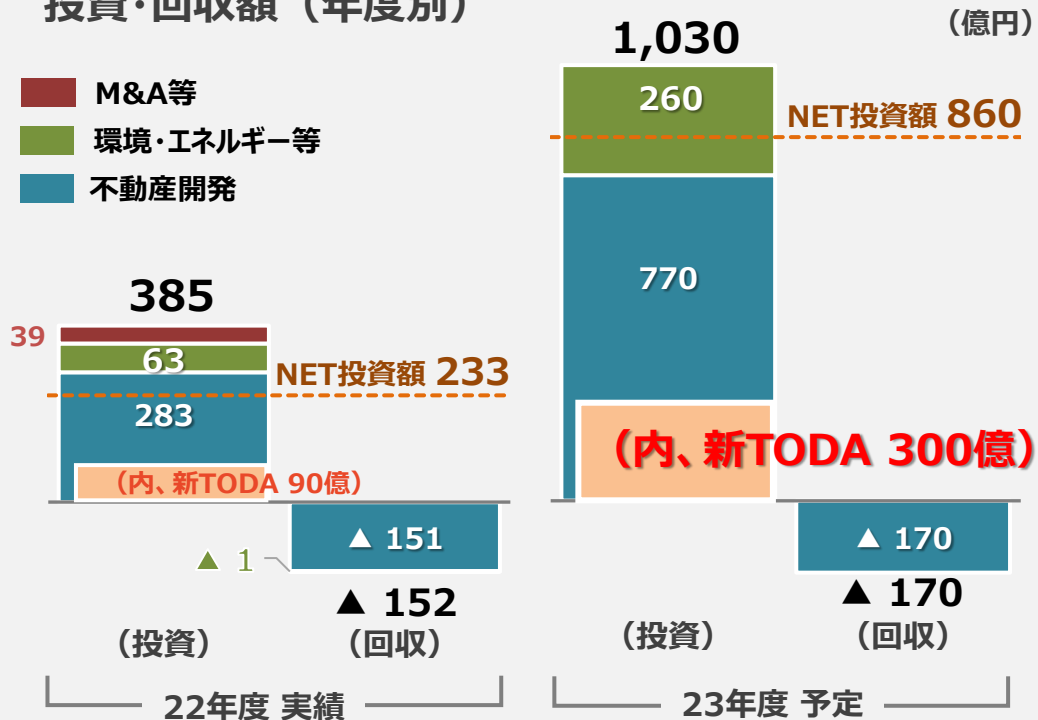
- 私募リート運用開始は2025年7月を予定、組成10年で運用資産残高1,000億円を目標
- オフィス、物流、住宅、ホテル、底地等、組み入れ物件は検討中



成長投資

中期経営計画にて成長投資1,900億円を計画（22～24年度）

投資・回収額（年度別）



※ 22年度実績を確定値にて更新

※ NET投資額 = 投資額 - 回収額

新TODAビル以外の投資予定



非財務目標

定量評価指標		22年度 実績	23年度 予想(実績)	24年度 目標	
E	CO ₂ 排出量 スコープ1+2	削減率 (20年度比) <small>※9月末 予測</small>	▲14.5	▲33.5	▲16.8 %
		原単位 (/億円) <small>※9月末実績</small>	13.6	13.0	11.2 t-CO ₂
	CO ₂ 排出量 スコープ3	削減率 (20年度比)	▲0.8	8.7	▲10.0 %
		カテゴリ1 原単位 (/億円) <small>※9月末予測</small>	700.4	660.1	540.7 t-CO ₂
	カテゴリ11 原単位 (/㎡)	2.9	3.2	3.5 t-CO ₂	
S	全度数率 <small>※9月末実績</small>	4.22	4.23	1.00	
	度数率 <small>※9月末実績</small>	0.40	0.30	0.10	
G	時間当たり労働生産性	5,567	6,150	7,500 円	

※ スコープ1：軽油等の使用により直接排出されるCO₂排出量
 スコープ2：購入した電気・熱の使用により発電所で間接的に排出されるCO₂排出量
 スコープ3：スコープ1・2以外の間接排出量
 カテゴリ1：建設資材製造時の排出量、カテゴリ11：施工した建物運用期間中の排出量

※ 原単位 スコープ1+2：売上高1億円当たりの排出量
 カテゴリ1：取引金額1億円当たり排出量、カテゴリ11：竣工延床面積1㎡当たり排出量
 ※ 全度数率 = 全労働災害件数 ÷ 延労働時間 (100万時間)
 度数率 = 休業4日以上労働災害件数 ÷ 延労働時間 (100万時間)
 ※ 時間当たり労働生産性 = 付加価値額 (営業利益 + 総額人件費) ÷ 社員数 ÷ 平均総実労働時間



戸田建設